

## 令和7年度 第4回社会教育委員会議 議事録

第4回会議では、各委員の活動をまとめた報告書について、3つの班に分かれ協議しました。

- ・ 「実践例」の表に関して、「〇〇活動」というように書き方を統一した方がよい。
  - ・ 「実践例」の表に関して、こういった団体の実践例なのかが分かった方が参考にしやすい(「子ども会」や、「婦人会」など)。
  - ・ 各市町村の社会教育委員はどういう分野の人なのか、一覧があると傾向が見えてくる気がする。ニーズに応じて資料を作る方が効果的だと思う。
  - ・ 関わった人の感想を事例の中に盛り込むとよい。
  - ・ 紙ベース・QRコードなどの2種類で周知するとよいのでは。
  - ・ 「かわりあい」「まじりあい」「まなびあい」が一連となっていることが分かるまとめ方にした方がよい。
  - ・ 子ども向け・保護者向けのまとめも作って、各自治体で配信してはどうか。取組が各家庭まで届くとよい。
  - ・ 各自治体の社会教育委員の活動をTVで取材してもらえると、取組が周知できるのではないかな。
- 
- ・ 写真等を盛り込んだwebページがあると分かりやすい。
  - ・ 高鍋駅周辺の活性化の事例について、交流の背景について説明があると分かりやすい。
  - ・ 「かわりあい」「まじりあい」の境界が曖昧な事例に関しては、セルを結合しているが、「かわりあい」「まじりあい」「まなびあい」の3つにセルが分かれている事例もあるので、見たときに疑問が湧く。
- 
- ・ 各委員にもう少し細かく活動内容を聞き取る必要がある。
  - ・ 活動の具体的な手順が分かるようにした方がよい。
  - ・ 「かわりあい」「まじりあい」「まなびあい」の一連の流れが分かりやすい活動を取り立てて掲載してもよい気がする。
  - ・ 「どこでやっていることなのか」を明らかにして、視察に行く際のヒントにもらえるようにまとめてはどうか。
  - ・ 実践後の姿(写真)や参加者の感想などがあるとよい。
  - ・ 目指す姿を忘れないように、リーフレットにある「未来のウェルビーイング」の部分を再掲するとよい。
  - ・ 理論や会議の流れのような「説明」的な部分と、実践例をまとめた部分は別にした方がよい気がする。実践しようと思うときに、「説明」部分は読まない。
  - ・ 日々の小さな活動(あいさつ運動や見守り活動など)がウェルビーイング実現の土壌になっていると思うので、そういった活動も取り上げてほしい。
  - ・ 青年の事例が乏しいことが気になる。